

Meeting Minutes

会議名	2023年度BSIJ情報委員会 & BSIJ協議会第9回 合同委員会	記録	塚原
日時	2024年3月19日(火)13:00~15:00	確認・発行者	森谷
場所	日本建築積算協会2階会議室 & Web会議 (ZOOM) ハイブリッド開催	発行日	2024年3月19日

出席者 (順不同・敬称略) ただし、●対は対面出席予定者、●onはオンライン出席者、○は欠席者を示す

座長	●対 森谷靖彦	●対 副座長 村瀬弘幸(情報委員会WG主査)
情報委員/BSIJ協議会委員	●on 志手一哉(情報委員会委員長)	●対 専務理事:前田伸子
	●on 加納恒也	●on 日本建築士事務所協会連合会:加藤政弘
	●対 田中洋介	●on 日本建築家協会:筒井信也
	●on 須貝成芳	●on 日本建築家協会:筒井信也
	●on 比嘉俊介	●on 日本建築構造技術者協会:馬場勇輝
	●on 齊藤 武	●on 日本不動産鑑定士協会連合会:立石正則
	●on 高橋肇宏	●on BIMライブラリ技術研究組合:寺本英治
	●on 谷内秀敬	●on 日本ファンシリティマネジメント協会:松岡 辰郎
	●on 井関 美穂	●on 建築・住宅国際機構:西野 加奈子
	●on 大浦 悠都	●on 建設物価調査会:丸木健
	●on 北條 麻衣	●on 建築・住宅国際機構:西野 加奈子
	●on 柳田 将貴	●on 建築コスト管理研究所:岩松 準
	●on 山之口 靖幸	●on 国土交通省大臣官房官庁営繕部:竹村光司
		●on 国土交通省大臣官房官庁営繕部:城澤道正
	オブザーバー	●on 皆銭 宏一
●on 杉江 弘光		
●対 事務局長 塚原 均		(以上32名)
事務局	No.	資料はBSIJ協議会ホームページに後日アップロードします
配布資料		※ BSIJ協議会HP http://www.bsij.or.jp/info/bsiiconference.html?date=202011
	1	(資料1)BSIJ協議会委員名簿
	2	(資料2)活動報告(適宜)
	3	(資料3)その他関連資料

事次第

NO	ITEM			ACTION / PROGRESS / CONTENTS	配布資料	担当	DUE DATE	
	No.	FROM	TO					
1	報告事項							
1		志手	ALL	開会挨拶+近況報告 今月25日に親委員会のBIM推進会議があり、その第4部会として、報告する内容の事前確認である。				
2		森谷	ALL	BSIJ協議会からの報告 情報委員会としては、既に10年以上前から活動しているが、2020年度から国交省のBIM推進会議で活動し、分類体系の普及や、BIMコストマネジメントガイドライン作成に取り組んでいる。	1			
3		村瀬	ALL	情報委員会からの報告 来年度6月には、今までの集大成としてのガイドブックを出版する予定である。	2 3			
4		各リーダー	ALL	各チームからの報告(翻訳チーム/LOCチーム/設備チーム/広報チーム) Uniclassを年4回更新して、現在Ver.4.44まで、管理している翻訳チーム(田中委員)、LOCチーム(須貝委員)では、BIMコストマネジメントガイドブックの章立てに沿って、分類体系の必要性や、協働の必要性を説明している。設備チーム(谷内委員)は、物を特定するツールとして、自動的にモデリングできるように開発を検討している。広報チーム(村瀬部会長)は、ガイドブック全体の取り纏めをおこなっている。	2 3			
5		全員	ALL	質疑 ・JFMA/松岡:分類体系は大切なものだと認識はもっているが、Uniclassが広く認知されてはいない。FMとしては、来年度課題として、EIRのひな型をまとめていく予定であるので、意見交換を進めていきたい。 ・日本不動産研究所/立石:不動産業務では簡易な図面をもとにマネジメントしていることが多いので、高LODのBIMモデルは馴染まず、社会的実装の観点からは、デフォルメして、軽くシンプルにする必要がある。 ・国土交通省/城澤:費用対効果が悪いと進まない。Uniclassを誰が入力するのか、実際に使用した実例によって、課題や効果を検証して、具体的に進める議論を展開してほしい。				
6		森谷 前田	ALL	その他事務連絡等 当協会活動の見直しとして、ガイドブックを6月に発刊することを当面目指していく。				
		志手		3月26日に芝浦工大で、BIMシンポジウムを開催し、分類体系の普及を図っている。				
2	次の開催予定							
		2024年度初頭を予定(仮称BIMコストマネジメントガイドブックのお披露目)						